

新富町 議会だより

9月定例会

○令和元年度決算

(一般会計、特別会計、水道事業会計)

○令和2年度一般会計補正予算

○一般質問(8人が登壇)

○議案審議結果

○町民インタビュー(第5回)

109号

2020年9月

富田小5年生による恒例の稲刈り

令和元年度 新富町一般会計決算を認定

令和元年度決算 実質収支は黒字

歳入総額112億7391万4千円、歳出総額109億7403万7千円となり、実質収支は黒字となりました。

歳入は前年度比7.9%減少しており、その中で自主財源の割合は、総額の49.0%で、前年度より3.3%減となりました。その要因は主に、寄付金(ふるさと納税寄付金)が大きく減少したことにあります。しかし、その中で基金運用による運用益は、前年度比約1200%増の約1670万円でした。また依存財源は9億6158万7千円の減となっており、その要因は主に町債、国庫支出金、地方消費税交付金の減によるものです。

歳出におきましても前年度比7.5%減少しており、これは大規模建設事業の終了等が主な要因です。令和2年度に繰り越した事業を除く、歳出予算に対する執行率は97.1%で、前年度を0.9%上回りました。

財政の健全性を判断する健全化判断比率は、判断すべき4つの基準すべてにおいて早期健全化基準を下回っており、町の財政は健全であるといえます。また財政力を表す財政力指数は0.46でした。

※指数の見方「1」に近いほど財政力がある。
(平成30年度全国市町村平均は0.51)

依存財源 (51.0%)

国有提供施設等所在市町村
助成交付金 (1.3%)
1億4744万4千円
基地に対する固定資産税のようなもの

地方交付税 (17.8%)
20億479万円
国から財源不足状況に応じて配分されるもの

国庫支出金 (15.9%)
17億8925万6千円
事業の財源として使い道が特定された国から交付されるお金

県支出金 (9.7%)
10億8823万4千円
事業の財源として使い道が特定された県から交付されるお金

町債 (2.4%)
2億7252万2千円
大規模な工事など、費用に充てるための資金を国や県、金融機関などから借入れをしたお金(町の借金)

その他
4億4330万円
地方譲与税、その他交付金

歳入合計 (町の収入)

112億7391万4千円

自主財源 (49.0%)

町税 (13.6%)
15億3493万9千円
町民税、固定資産税
軽自動車税、町たばこ税

使用料及び手数料 (1.2%)
1億3079万4千円
公共施設、町営住宅などの使用料
住民票などの発行手数料、ほか

寄付金 (11.4%)
12億8059万4千円
ふるさと納税寄付金

繰入金 (15.4%)
17億3786万円
特別会計、基金からの繰り入れ

その他
8億4418万1千円
分担金及び負担金
財産収入、繰越金、諸収入

歳出合計 109億7403万7千円

総務費 (37.5%)

41億2033万5千円

一般管理費(人件費など)、財産管理費(積立金など)、企画費(スタジアム用地費、こゆ財団補助金など)、基地対策費、他

民生費 (26.3%)

28億9068万円

社会福祉総務費、老人福祉費、児童福祉費(各種助成金・給付金、特別会計からの繰出金など)、他

農林水産事業費 (7.4%)

8億1206万5千円

農業振興費(各種補助金)、農地費(委託料、工事請負費、補助金など)、林業費、漁港管理費、他

教育費 (7.3%)

7億9654万円

教育総務費(備品購入費など)、小学校費、中学校費、社会教育費、他

公債費 (5.0%)

5億6121万円

借り入れたお金の返済に使われる費用

衛生費 (5.9%)

6億5041万円

保健衛生総務費(西都児湯医療センター助成金、各種負担金など)、予防費(各種検診委託、予防接種委託、不妊治療助成金など)清掃費(清掃総務費、塵芥処理、し尿処理関係)、温泉施設費、他

土木費 (5.4%)

5億9626万8千円

道路橋りょう費、河川費、都市計画費、住宅費(委託料、工事請負費、補償費など)

その他

消防費(2.9%) 議会費(1.0%)
商工費(0.7%) 災害復旧費(0.5%)

意外と知らない

新田原基地があるから入ってくるお金について

防衛省補助金等総額約 14 億円 基地交付金 1 億 4 7 4 4 万 4 千円

住宅防音及び機能復旧事業 5 億 5 4 6 万 4 千円 ※町を介さず国から個人への助成金です

障害防止事業補助金

8049万1千円

防衛施設周辺整備事業 国庫補助金収入

合計 7 億 8 2 4 2 万 6 千円

住宅防音費補助金

607万7千円

民生安定施設整備事業
補助金

8933万円

特定防衛施設周辺整備
調整交付金

3億3302万6千円

再編関連訓練移転等
交付金

2億7350万2千円

こんなことに使われました



上新田小学校解体工事
富田小学校講堂建設
大和地区洪水対策事業
東大谷地区排水路整備事業



道路改修事業
防災行政無線(移動系)整備事業
屋外運動場設置事業



上新田学園プール改修事業
道路改良事業、排水路整備事業
消防自動車整備事業、防犯灯設置事業
町道区画線設置事業、他



各基金積立金、道路改良事業
自治公民館空調機器設置助成事業
航空機騒音測定装置整備事業、他



町営住宅空調機
復旧事業補助金



令和元年度 新富町特別会計決算を認定

国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入 21億5643万6千円 歳出 21億2030万1千円	歳入 16億5248万2千円 歳出 14億4831万7千円	歳入 3億9564万3千円 歳出 3億9453万4千円
西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計		土地取得特別会計
歳入 25万2千円 歳出 11万1千円		歳入 2億3630万9千円 歳出 2億679万円

令和元年度 新富町水道事業会計決算を認定



総収益 2億9200万8千円
総費用 2億6973万6千円
純利益 2227万2千円



令和2年度第8回 一般会計補正予算を可決

3億8420万9千円を追加

新規取り組み事業（一部抜粋）



交通安全機器設置事業補助金	150万円	町民の安全運転意識を高めてもらうため、ドライブレコーダーを設置した世帯に対し1万円を上限に補助します。
スポーツ観戦トライアル事業	1129万円	「新しい生活様式」に対応した、新しいスポーツ文化の定着を目的として、サッカースタジアム完成記念式典及びセレモニーイベントを実施します。
証明書等コンビニ交付システム導入事業	3049万円	コンビニで住民票や税証明書等を発行できるようなシステムを導入します。
チャレンジショップ用空き店舗改修事業	1675万7千円	飲食や雑貨販売など新規起業を予定している事業者へ一定期間貸し出し、企業に向けての準備や地域の魅力を向上させるよう、チャレンジショップとして運用するための空き店舗を改修します。
修学旅行バス借上げ事業補助金	57万円	修学旅行（小学校）時のバス借り上げ台数を増やし、3密を防止するための補助金。
乳幼児及び児童・生徒インフルエンザ予防接種事業	895万4千円	乳幼児から高校生までのインフルエンザ予防接種に対し、費用の一部を助成します。
学校給食提供推進事業補助金	262万8千円	販売が低下しているウナギ等の水産物、鶏肉について需要喚起を行うため、学校給食を通じ魅力を伝える経費に対する補助金です。
避難施設空調機器整備事業	3691万8千円	避難所における熱中症対策として小中学校講堂へ空調機を設置します。

現在の町政に議員が問う！一般質問

新型コロナウイルス対策は

町長の補助事業等活用で支援



吉田憲市 議員

問 新型コロナウイルスにより影響を受けている農家の救済対策について。

答 新型コロナウイルス緊急農業振興協議会を設立し、JA児湯と連携して農畜産物の消費拡大及び販売促進としてBQセットや県外の親族等へ町産品を送るギフトセットの販売、県外でがんばる大学生への町産品の無償提供、抽選で町産品が当たるぬり絵チャレンジ等を実施した。また、農畜産物商品開発発送事業や

学校給食への町産品の提供を行う農畜産物応援特別事業に取り組んだ。さらに収入減少経営継続農畜産物の生産に対する国の補助事業「持続化給付金」「経営継続補助金」「時期作支援交付金」等の農家への周知や申請受付などの補助事業活用の支援を行った。

問 牛マルキン事業の現状と今後の対策について。

答 枝肉価格が下落し、肉用牛マルキンが2月から発動され積立金が不足している。今後の動向を注視し、必要に応じた対策を行っていきたい。

問 移動販売車の活用について。
答 地域の実情等をみながら新しい生活様式の一つとして検討していく。

問 農工商連携による町の活性化について。

答 町と農工商の関係機関と連携し、経営継続雇用維持の施策を講じながら、町の活性化に努める。

問 口腔ケア対応による疾病予防対策について。

答 歯と口の健康は全身の健康保持増進や生活の質の向上にも影響を及ぼすことから、乳幼児期から高齢期まで各世代に合わせた取り組みを実施している。



全身の健康は口腔ケアから

問 テゲバジャーロ宮崎について。今後の取組みは。

答 スタジアム建設は2月までに完成する予定で、J3昇格に向けての取組みが行われている。今後、町としてクラブが進める手続きにおいて必要な支援を行うと共にチームの勝利に向け、町民の熱い応援をお願いしたい。

問 西都児湯医療センターについて。

答 休日夜間の急病患者の受け入れや入院治療が可能な二次救急施設として医療提供体制を確保していただくよう要望していく。

問 新田原基地周辺対策について。

答 基地周辺住民が今回の工事により安心安全の確保や住環境への影響が生じることがないよう、国に対策を要望する。

現在の町政に議員が問う！一般質問

保育士らに慰労金を

町長各種支援を行いたい



松浦美緒 議員

問 手をつないだり抱き上げた
りするなど、子どもとの身体
的接触は避けられない保育士
らに慰労金を支給する考えは
ないか。

答 新型コロナウイルス感染症
緊急包括支援交付金を活用し
た事業費を予算計上し、児童
福祉施設等における感染症対
応力の底上げをしながら継続
的なサービス提供が可能とな
る各種支援を行いたい。

問 妊産婦総合対策事業を行っ
ているが町としての取り組み
は。また、町独自で新型コロナ
ウイルス検査を毎回の妊婦
検診で行う仕組みは考えられ
ないか。

答 本町では今年度設置した子
育て包括支援センター「まあ
る」において、里帰り出産が
困難な方や家族等の支援が受
けられない方など電話や訪問
により把握し、ケースに応じ
た支援に取り組んでいる。検
査は県医師会にも相談し、県
と連携して安心して産み育て
られる環境づくりを検討する。



安心して出産できる
環境を望む



自治体は「制度」の情報提供を

問 子宮頸がんの罹患者が近年
若年層に多く見られる。平成
25年4月から定期接種とな
った子宮頸がんワクチン接種
だが接種率が平均0.1%を維
持している。自治体はその制
度の周知を行う義務があるが
本町はどのような周知を行っ
ているか。

答 健康カレンダー、ホームペ
ージに掲載しており、平成25
年からは、母子健康手帳にも
接種記載欄を設けている。勧
奨通知等は行っていないがワ
クチン接種自体を控えるもの
ではないことから、対象とな
る小学6年生から高校1年生
への接種の周知方法について
は、今後工夫しながら行う。

問 充実した人生や家族との情
報共有を支援するためのエン
ディングノートを配布する考
えはないか。

答 現在進めており、全戸配布
する。

問 台風10号で避難された人
数と、そのうち町体育館に避
難された方の人数は。また、
今回を踏まえて避難所運営の
在り方を伺う。

答 610名の方が避難された。
予想以上の避難者で、急遽合
計8か所の避難所、さらに地
区集会所も開設した。町体育
館はペット同伴の方に開放し、
23名の方が利用した。今後、
避難所運営の在り方は、感染
症対策を徹底し避難者同士が
「密接」「密集」にならないよ
う必要スペースを確保する。
避難所の環境整備については、
女性や災害弱者などの目線に
立ち、必要資材についても速
やかに整備を進めていく。

現在の町政に議員が問う！一般質問

住民票等のコンビニ発行は

町長 来年度に発行できるシステムを構築



下村 豊 議員

② 県医師会や宮崎市議会から旧宮崎市郡医師会病院の跡地を感染症専門医療機関として

活用の要望がなされている。

町村長会を通じて要望したい。

③ 県や医師会等で流行に備えた体制整備が検討されている。

今回インフルエンザ予防接種の費用に係る一部助成を補正予算に計上した。

④ 町内飲食店を町職員が訪問し、業種別ガイドラインの確認と遵守をお願いし、県作成のガイドライン実践宣言の店のステッカーを配付している。

問 新型コロナウイルス対応について①町または西都児湯のPCR検査等の体制整備は。②感染症専門病院の設置要望は。③インフルエンザと新型コロナウイルスの診断対応は。④新生活様式を踏まえた店舗等の取り組みと識別は。

答 ①持続可能な仕組みを構築するためにも、県をはじめ児湯医師会や圏域内の市町村との連携協力が必要である。



新型コロナウイルス
感染防止

問 コンビニにおける住民票・印鑑証明等発行への取組は。

答 今回、一般会計補正予算に予算を計上しており、来年度にはコンビニで住民票や印鑑証明等が発行できるシステムを構築する。



コンビニ交付で
より便利に

問 情報提供のデジタル化について①感染予防対策を兼ねて配布文書のデジタル化の考えは。②防災ラジオの進捗状況は。

答 ①増え続ける公文書類のデジタル化を行い、書類の保管・管理を行っていく。

②防災ラジオの送信局設置のための関係団体との協議がほぼ終了し、送信局の用地等の使用許可の承認を待っている状況である。

問 町内移住の施策は。

答 新型コロナウイルスの影響を受けた方の町内雇用と移住を支援する「町内企業雇用促進プロジェクト」や、内定取り消し等の新卒者等が町内に居住し、就職活動を行うことを支援する「夢・応援プロジェクト」町外企業の雇用者が本町に居住しながらテレワーク等を行うことを支援する「地方での働き方実践プロジェクト」を実施している。また、地域おこし協力隊の雇用を進めており、現在14名が町内に移住し活動している。更に、県と共同で、県外から町内企業へ就職した方等へ移住支援金を交付する「ひなた暮らし実現応援事業」や「移住支援事業」を実施している。



町内へ移住促進

現在の町政に議員が問う！一般質問

コロナウイルス感染者に対する支援は

町長 「コロナこころのダイヤル」で安心を



小山早苗 議員

アドバイスをを行うほか、PCR検査後の自宅待機の方の食事の手配や高齢者の買い物支援に関する情報提供などの支援に取り組んでいる。



終息が見えない
コロナ感染

で5日間の授業日確保となりました。当初の予定からの不足分は学校行事の調整や家庭学習の工夫により子どもたちの過度の負担とならないように配慮し、学びの保障に努めたい。

問 学校や保育園で集団感染が発生した場合は臨時休業となると広報されていたが、今回は町内の集団感染が発生しなかったため、子ども、保護者に戸惑いが見られた。今後、同様の状況となった場合の対応は。

答 学校における3月、4月の不足授業を夏季休業中に補う予定と聞いていたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い再び休校となった。今後、授業日数の確保はできるのか。

答 6月当初は夏季休業期間中に9日間の授業日を予定していたが、感染拡大により臨時休校となった。2学期始業日を8月24日に変更したこと

答 新型コロナウイルス感染拡大防止に対する町の対応方針では警戒レベルを4段階に分け公共施設や保育所、小中学校の対応方針を示している。基本的には学校における「学びをとめない」という観点で現在休校措置の指針の再改定の見直しを行っている。今後はその指針に沿って休業の判断をしていく。



度重なる休校で
授業の遅れが心配

問 旧上新田小学校跡地の具体的な活用計画と管理は。

答 具体的には決まっていないが今年度中には計画を示したいと考えている。跡地の管理は町の持ち物としてしっかり対応していく。



移設した古民家の活用も

現在の町政に議員が問う！一般質問

スタジアム完成イベントの予定は

町長の皆様と分かち合えるような企画を検討



石崎俊二 議員

問 テゲバジャーロ宮崎を応援するにあたり、このコロナ禍における応援体制や取り組みなど町としての考えは。

答 今回計上している補正予算で「スポーツ観戦トライアル事業」を予定している。この事業は、テゲバジャーロ宮崎と共に、新たな生活様式の中でのスポーツ観戦をどのような形で行うかを相談しながら実施するものであり、3密を

避けること、入場時の防疫体制を作るなどを試行しながら、共にスタジアムの開業を町民の皆様とお祝いしたいと考えている。



問 コロナの関係でJ3昇格条件が緩和されている。成績の条件だけ満たせば昇格できるということではよろしいか。

答 来場客数2000名以上という要件が、今季に限り適用されないのが、条件の一つがクリアしやすくなったが、Jリーグ百年構想クラブが16チーム中6チームあり、その点は昨年度よりハードルが上がっている。今後の奮闘に期待したい。

問 防犯灯設置による地区や団体の電気代負担について。予算を圧迫しているところもあり、負担額の軽減など今後見直しはできないか。



電気代の負担軽減を

答 実状をしっかりと考えていかないといけないと認識している。三納代商工業振興会に関しては、もともとは改修工事まで自己負担の約束だったが、平成25年度にLED改修工事をした際「改修工事は全額町負担で行うので、その後の電気代の負担は振興会でお願います」ということで合意した経緯がある。ただこれから、地区や団体の皆様との話し合いの中で、どうやったら負担を減らすことができるかを検討し、実状に合わせて考えていく必要がある。

問 町立学校について。コロナの影響で、いつもとは違った夏休みを過ごした子ども達の様子に変化はなかったか。

答 夏休み期間中に大きな事故等の報告は入っていない。2学期開始後の子ども達の様子については、比較的落ち着いた様子であった。教育長と教育委員代表で各学校を訪問し、実際に学校生活の様子を見て回った。登校渋りや不登校を感じさせるようなこともなかったということだった。ただし、このような状況なので、気を緩めず、注意深く見守っていききたい。



コロナに負けるな！

現在の町政に議員が問う！一般質問

運転寿命延伸プログラム導入を

町長前向きに検討していきたい



阿萬誠郎 議員

今年度から、利便性を向上させるため「デマンド交通」の町内運行に向けて準備を進めている。

問 「運転寿命」の延伸を図る取組みは。

答 運転を行うには心身が健康であることが重要。運動能力の維持のため、介護予防教室での運動や家庭でできる体操の紹介など健康維持の取組みを行っている。今後は運転前に自身の体調・運動能力を把握し、運転をしない時間帯や無理な運転を控え、事故を防止する「制限運転」の取組みも必要であると考える。

問 まだまだ免許が手放せない高齢ドライバーのマイカー需要は高い。運転寿命の延伸を図ると同時に高齢者の生活の質向上と維持を図る狙いで運転寿命延伸プログラムによる「ドライビングシミュレーター」の導入はできないか。

答 高齢者が生き甲斐をなくさないよう生活の質を維持、向上できる取組みを目指している。大変良い提案であり、前向きに検討していきたい。

など注視しながら研究していく。

問 スマートメーターは、水道管漏水など早期発見のための安全装置である。公共施設、大きな工場など試験的に設置してはどうか。

答 導入費用も多額になる。全国的な普及状況を注視しながら、まずは、公共施設、工場などの検針しにくい大口径のメーターに設置できないか検討していく。



まだまだ車がないと不便

問 高齢者ドライバーへの支援策を伺う。「安全運転サポート車」補助事業の実績は。

答 令和元年度に65歳以上の方に対し、67件309万円の補助を行った。

問 免許返納高齢者への支援策の現状と今後の取組みは。

答 公共交通機関の空白地域にコミュニティバスを運行しており、自主返納者の方々には、コミュニティバス回数券100回分とタクシーの初乗り券15回分の助成を行っている。

問 ICTを活用した水道検針用スマートメーター導入の可能性は。

答 システムの導入費用、維持管理費用などのコスト面で現段階での導入はかなり厳しい現状。今後、他事業体の動向



漏水の早期発見に期待できる

現在の町政に議員が問う！一般質問

住民説明ないままの着工は許されない

町長 大変遺憾 引き続き説明を求めていく



吉田貴行 議員

問 8月27日の宮日新聞は、米軍による新田原基地の緊急時使用に伴う施設整備について、国は9月1日から工事を着工すると報道した。一方、町長は6月議会の質問では「周辺住民に対する十分な説明を行うよう国に申し入れている」と答弁している。昨年12月に開かれた区長会での説明会について、宮日新聞は、「国説明に住民批判」との見出しで「不明確な要素ばかり

で納得できない」「国の姿勢はいつも一方的だ」との町民の声を紹介している。朝日新聞は「住民納得できない」との見出しで「弾薬庫に何が入るのか」「一方的におしつけるだけ」との疑問と批判が噴出したと報じた。こうした状況で、住民への説明が不十分なままでの工事着工は許せないと考えるが。

答 大変遺憾に思う。引き続き、基地周辺住民に対する十分な説明を行うよう国に求めていく。



国に十分な説明を求む！

問 新型コロナウイルスの感染予防対策について、どう取り組んでいくのか。

答 PCR検査の拡充や感染に関する情報提供の在り方、保健所との連携強化等について、県と協議しながら取り組んでいく。



なかなか拡充しないPCR検査

問 特別支援学校には、設置基準等が無いと聞いているが、このことについての教育長の認識は。また、支援学級についての設置基準等はどうか。

答 特別支援学校には、設置基準は定められていない。普通教室はもとより特別教室も含め適切な教育環境が必要と考えている。特別支援学級の学級編成の基準は1学級あたり8人とされている。

問 聴覚障がい者・難聴者に対する補聴器等への補助金など、町独自の支援制度は実施できないか。

答 「聞こえにくさ」については早めの対応が必要だと考えている。補聴器購入時の補助拡大も含め、聴覚障がい者・難聴者の対策について研究していく。



聴覚障がい者・難聴者に対して町独自の支援策を

現在の町政に議員が問う！一般質問

教科書選定（歴史教育）について

教育長 公平公正に選定するように努める



議員 久兼 斐 捐

問 来年度から使用される中学校の歴史教科書はどの出版社に決定されたのか。

答 歴史教科書の出版社は「東京書籍」に決定した。

問 教科書選定の評価項目は。 **答** 今回の評価項目は四つの観点で評価した。

- 一、教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等
- 二、内容や指導の充実
- 三、利便性の向上
- 四、地域の思いと願い

問 特に何に重点を置いて選定したか。

答 先の四つの観点について評価し総合的に一番ふさわしいものを選定した。特に①郷土の偉人（伊東マンショ、小村寿太郎、石井十次）の掲載の充実や歴史年表の見やすさ②学習内容の定着を図る工夫がされておりユニバーサルデザインの見点を取り入れていること、インターネットのデジタル資料（QRコード）が充実していること、学習するための「まとめの活動コーナー」や「みんなでチャレンジコーナー」などが充実していることとなる。



問 町長はどのように考えるか。 **答** 歴史は教科書に書かれていることだけでなく、自らが調べているいろいろな見方を学ぶことが重要と考えている。

問 一ツ瀬ダム的事前放流（予防放流）について現状はどうなっているのか。

答 現在はダムの管理者である九州電力が任意で予防放流し水位を調整している。

問 協定を結ぶにあたっての県の考え方、進捗状況は

答 県は今年8月に宮崎県二級水系既存ダム洪水調整機能強化協議会を設立し、来年3月までに県とダム管理者、利水者の3者で事前放流の協定を結ぶ方針を確認した。

問 下流域の市町としてどのように関わるのか。

答 下流域の市町は協議対象者とならないため協定内容の説明を受けることとなる。



最近では想定外の大雨も

問 調整メカニズムの作成にあたり重要なことは。

答 予測雨量をもとにダムの流入量を算出し、確保する容量を設定して貯水量に換算することが重要。

問 コンター見直しについて国へ積極的な働きかけはしないのか。また基地周辺協議会への働きかけはどうするのか。

答 コンター見直しは住民生活に大きな影響があることからしっかりとした議論をするとともに周辺市町とも慎重に合意形成を図り協議を進める必要がある。積極的に調整を図りたい。

令和2年9月定例会 議案等の審議結果

番号	件名	結果	
議案第44号	令和2年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第45号	令和2年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第46号	令和2年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第47号	令和2年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第48号	令和2年度新富町土地取得特別会計補正予算	可決	全員
議案第49号	令和元年度新富町水道事業会計剰余金の処分について	可決	全員
議案第50号	新富町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	可決	全員
議案第51号	新富町デマンド交通運行条例	可決	全員
議案第52号	新富町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第53号	新富町県営土地改良事業に係る分担金に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第54号	新富町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第55号	新富町消防団員に係る消防功労金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第56号	財産の処分について	可決	全員
議案第57号	物品売買契約の締結について(令和2年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業ホイールローダー購入)	可決	全員
議案第58号	令和2年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
認定第1号	令和元年度新富町一般会計歳入歳出決算の認定について	承認	多数
認定第2号	令和元年度新富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	全員
認定第3号	令和元年度新富町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	全員
認定第4号	令和元年度新富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	全員
認定第5号	令和元年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	全員
認定第6号	令和元年度新富町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	承認	多数
認定第7号	令和元年度新富町水道事業会計決算の認定について	承認	全員
報告第4号	令和元年度決算に基づく新富町財政健全化判断比率報告書について		
報告第5号	令和元年度決算に基づく新富町水道事業資金不足比率報告書について		
請願第1号	「米軍による新田原基地の緊急時使用に伴う施設整備に関する住民の説明を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	多数
発議第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	全員

令和2年第4回/第5回臨時会(7月9日/8月9日) 議案等の審議結果

番号	件名	結果	
議案第39号	工事請負契約の締結について(令和2年度富田小学校講堂建設(建築主体)工事)	可決	全員
議案第40号	工事請負契約の締結について(令和2年度富田小学校講堂建設(空調給排水衛生設備)工事)	可決	全員
議案第41号	工事請負契約の締結について(令和2年度富田小学校講堂建設(電気設備)工事)	可決	全員
議案第42号	物品売買契約の締結について(令和2年度新田原飛行場関連再編関連特別事業福祉バス購入)	可決	全員
承認第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
議案第43号	令和2年度新富町一般会計補正予算	可決	全員

町民インタビュー Vol.5

聞かせて！あなたの未来

～新田原古墳群を守る人たち～
今回の聞かせてさんは保存会会長の高家武男さん



高家武男さん（春日地区）

今回は新田原古墳群保存会の会長高家武男さんにお話を伺いました。高家さんは会長2年目。かつて「百足塚」の発掘調査に携わっていたそうです。岡山県生まれの76歳。45年前に仕事で宮崎に来たのがきっかけで新富町春日に住居を構えました。現在は春日地区区長、文化財保護審議員もされています。

この新田原古墳群は、平成30年に宮崎市、西都市、新富町の3市町にまたがる古墳群が「古代人のモノユメント」台地に絵を描く南国宮崎の古墳景観」として日本遺産に認定されました。

この古墳群は「塚原古墳群」「石船古墳群」「山之坊古墳群」「祇園原古墳群」の四つの群にわかれており、その中の祇園原古墳群では「百足塚」や「大久保塚」など名前のついた古墳がいくつもあります。

丘の上から見下ろす古墳群の景色がとても気に入っているという高家さん。「今までやったことのない事を官民でやっていきたい」と思っています。



歴史ある古墳の魅力を知らしてもらい、たくさんの人に訪れてもらえる古墳群にしていきたい！



子どもたちの教育の中に地元の古墳群と親しむ機会があればいいですね。

新富町議会のここに期待しています！

町民がのびのびと暮らせる町にしてほしい。もちろん文化財保存にも力を入れてください！



編集後記

令和おじさんが電光石火の如く、第99代内閣総理大臣になられた。秋田県出身で山里のいちご農家の長男として生を受けられ、地元の高校を卒業後に上京し就職。しかしその2年後に法政大学法学部に入学し、政治家を目指された。国會議員であった梶山静六氏を師と仰ぎ、たゆまぬ努力と研鑽で、世襲ではなく、たたき上げの官房長官から総理大臣まで上り詰めた。

地方出身であり「農は日本の基」であることを念頭に日本丸のかじ取りを切望してやまない。

ケンイチ

議会広報特別委員会

- 委員長 石崎 俊一
- 副委員長 小山 早苗
- 委員 松浦 美緒
- 出口喜重郎
- 大木 俊二
- 吉田 憲市

連絡先 議会事務局

☎333-6139